

一般社団法人 日本医療検査科学会  
2024年度 第6回理事会 議事録

開催日時： 2024年12月6日（金）15時00分～17時00分  
開催場所： 日本医療検査科学会事務所（およびZOOM会議）  
出席者： 高橋聡理事長、清宮正徳副理事長、石山雅大理事、大川龍之介理事、  
橋口照人理事、藤巻慎一理事、堀田多恵子理事、  
萩原三千男監事、柳原克紀監事  
欠席者： 中山智祥理事、増田亜希子理事  
議長： 高橋聡理事長  
議事録作成者： 佐久間良太

議 題

1. 理事長挨拶

高橋理事長より、第6回理事会にご参集頂いたことへの謝辞があった。

2. 報告事項

2-1. 副理事長職務報告（高橋理事長）

2024年10月1日～11月28日までの入退会者に関して資料に基づき報告があった。

（入会者：19名 退会者：16名）

2-2. 認定POCCコーディネーター試験結果報告（藤巻理事）

認定POCCコーディネーター試験結果について、資料に基づき説明があった。実施経過についての内容説明があり、受験者12名の内合格者は11名となった旨の報告があった。

2-3. 第39回春季セミナーについて（石山理事）

第39回春季セミナーの準備状況について報告があった。

2-4. その他

橋口理事より国際交流委員会代表として中国上海の臨床検査医学会に出向し講演を行ったと報告があった。その際リックドバイオプシーに詳しい病理の先生を紹介してほしいとの依頼があり推薦をしたが、先方より「IFCCの組織に推薦するため日本臨床化学会から推薦してほしい」との依頼がありお断りをし、推薦をした先生へキャンセルの連絡をすると報告があった。

3. 審議事項

3-1. 評議員推薦（橋口理事、藤巻理事、柳原監事）

3名の評議員推薦について資料に基づき説明があり、審議の結果承認された。

3-2. 学術委員会より委員長交代申請（中山理事）

学術委員会より来年度の委員長交代に関する推薦があり、審議の結果承認され次期委

員長は下記の通りとなった。

- ・POC 技術委員会：後藤 慎一（春日井市民病院）
- ・血液検査機器技術委員会：金子 誠（三井記念病院）
- ・医療情報委員会：湯地 晃一郎（東京大学医科学研究所）
- ・倫理 COI 委員会：松下 一之（千葉大学）

また倫理COI委員会と学術委員会の重複について議論に挙げた。細則第20条に本会に置く委員会は「編集委員会」「学術委員会」「倫理・COI委員会」「その他理事会が定めるもの」とされている事を確認した。委員会重複について細則に記載がない事を確認し、第23条に「学術委員会内での委員の重複を認めない」「重複した場合はどちらか一方をオブザーバーとする」旨の追記変更する意見があった。また編集委員会には学術委員会との重複者が多いことを確認し、各委員会メンバーの確認を行い委員会の重複について再度審議する事になった。

### 3-3. 学術委員会より委員異動申請（高橋理事長）

学術委員会委員異動申請について資料に基づき説明があり、審議の結果承認された。

### 3-4. 学術委員会より各委員会議事録（高橋理事長）

学術委員会より各委員会議事録について資料に基づき説明があり、審議の結果申請通り承認された。

### 3-5. 学術委員会より内規改定（中山理事）

学術委員会内規改定について、資料に基づき説明があった。審議の結果POC技術委員会について一部条番号について誤りが確認できたため修正依頼をし、他の委員会については申請通り承認された。

### 3-6. JACLaS 国内アワード受賞学生の AMTT 学会への派遣について（橋口理事）

JACLaS 国内アワード受賞学生のタイの臨床検査技師学会（AMTT）派遣について資料に基づき説明があった。AMTT との MOU が締結されたこと、本学会の国際化、AMTT との連携強化のために「JACLaS アワードを受賞した学生から、翌春（例年5月末～6月中旬）にタイに派遣する2名の学生を選出する」ことを国際交流委員会にて協議し申請された。承認された場合 AMTT 学会で、派遣学生の受入セッションとして英語の「学生あるいはインターナショナルセッション」枠を設けてもらえるよう要請しそこで発表を行うことを確認した。審議の結果、派遣については承認された。また渡航費用について「派遣学生の2名については国際交流委員会から支出、理事長、学会役員は学会から支出する」という案が出たため海外渡航にかかる費用を確認し内規案を作成し継続審議することとなった。

### 3-7. 日臨技からの POC 委員交代について（藤巻理事）

POC 技術委員会の外部委員承認依頼について、日本臨床衛生検査技師会（日臨技）と共同で委員会の活動を行っていた事や、日臨技の学会プログラムにて本会の企画があった事などの過去の経緯について説明があった。「POCT の精度管理と精度保証」「災害対応や在宅医療」「認定 POCC 制度やセミナーの広報」などで連携強化を図るために日臨技から派遣いただいた2名を外部委員として承認する旨の申請があった。審議の結果承認された。

### 3-8. 学会事務所家賃改定について（清宮副理事長）

学会事務所家賃改定について資料に基づき説明があり、審議の結果承認された。

### 3-9. 顧問弁護士契約について（高橋理事長）

顧問弁護士契約について資料に基づき説明があり、審議の結果承認された。

### 3-10. 倫理規定について（高橋理事長）

倫理規定の作成について資料に基づき説明があった。他学会内にて異なる職種間でのパワハラ事例があり、本会でも倫理規定を作成する申請があった。作成については承認され、理事会にて規定案を作成し倫理 COI 委員会に協議してもらう事となった。また参考案の一部を変更することとし検討を進めることとした。

- ・略称を正式名称に修正
- ・参考文献の厚生労働省の大元の URL 変更

### 3-11. 選挙管理委員会について（清宮副理事長）

役員選挙について資料に基づき説明があった。役員の数については現行と同様に理事 9 名・監事 2 名となる様に理事 2 名・監事 1 名を選挙にて選出することとなった。選挙管理委員について検査技師からは阿部正樹先生（東京慈恵会医科大学）・田中晶子先生（キヤノンメディカルシステムズ株式会社）・金原清子先生（国際医療福祉大学）から依頼し、医師から 1 名を高橋理事長が検討し依頼をすることとなった。

### 3-12. その他

高橋理事長より、JACLaS と大会に関する打ち合わせの報告があり、下記について審議することとなった。

- ・開催曜日変更について

JACLaS より「例年の傾向として展示会場の日曜日（最終日）の集客が伸び悩んでおり、出展企業側も働き方改革などもあるため、開催曜日の変更希望（木・金・土曜日開催）が寄せられている」との意見があったと報告があり、開催曜日について理事会にて意見交換をした。「技師の先生方が参加しやすい金・土・日曜日にて数年間トライアル的に開催し参加者数などを見ることとした」という変更の経緯を確認した。「企画セミナーを依頼した場合に日曜日はできないなど企業によっては制約がある場合もあること」「現状の開催日程の場合に参加者の旅費なども高額になる」などの意見が出た。曜日変更をする場合の会場使用費の違いや、参加登録時に行っている開催日に関するアンケート結果などを調べ再検討することとした。

- ・神戸開催について

JACLaS より「パシフィコ横浜に比べ展示会場が狭く企業ブースの制限が必要となり、展示会場の配置も分かりづらい印象がある」「横浜開催に比べ展示会場の集客が少ない」などの意見があったと報告があり、今後の開催についての意見交換をした。学会では「西日本側の先生方は神戸での開催の方が参加しやすい」との意見があること、「参加者数は大きく変化しておらず、演題数も多くなる傾向がある」「会場費も安く、助成金などもある」事を確認し、は学術大会を実施する視点では良い環境であるため、神戸開催を継続していく意向であることを確認した。

- ・国際シンポジウムについて

国際シンポジウムの参加者が少ない印象があり、参加者に足を運んでもらえるようにする仕組みづくりが必要であると意見があった。JACLaS では和訳の作成や同

時通訳ソフトを使用することなどを検討しており、学会側で行えることを検討することとなった。

・合同交流会について

第57回大会ではインターコンチネンタルホテルで開催することになり、会場に制約が厳しく、表彰式等のスケジュールがあるため、例年行われていた派手な催し物（マジックやモノマネなど）は無しになったとの報告があった。会場やJACLaSとの打合せを適宜行い、進捗があり次第報告することとなった。

4. その他

- ・次回の理事会：4月19日（土）12：00（予定） 弘前市民文化交流館（予定）


以上

2024年12月27日  
一般社団法人日本医療検査科学会

議長

高橋 聡 

議事録署名人

柳原 克紀   
(出席監事)

議事録署名人

萩原 三男   
(出席監事)